



天文気象部等

諏訪市博物館ナイトミュージアムで 地域の皆さんへ向けて 研究発表

「高高度発光現象」と「守屋山のカキ化石」諏訪市博物館でポスター、化石を展示中です

8月23日（土）14時から諏訪地域の博物館で実施されているナイトミュージアム（夕方から夜半にかけて地域の方々へ博物館等施設を公開する企画）の企画の一つとして、本校天文気象部が継続研究している高高度発光現象「スプライト」の研究発表を行いました。

当日は、2年生天文気象部員が中心となって研究のポスター発表を行いました。雷とは異なる発光現象である「スプライト」の存在を始めて知つて驚かれた方や、能登半島沖合の上空で起きているスプライトを、能登から遠く離れた諏訪の高校生が観測していることを知り、大変興味関心をもたれた方もいらっしゃいました。

なお、SSHコースを今年3月に卒業した二人の生徒が在学中取組んだ「守屋山のカキ化石」（平成25年度日本地球惑星連合高校生セッション佳作）のポスターと彼らの口頭発表を収めた映像、そして、彼らが発掘したカキの化石を23日からしばらく諏訪市博物館で上映、展示させていただいています。



科学系クラブ女子部員 諏訪湖の菱の除去作業のボランティア作業に参加

「アクア・ソーシャル・フェス2014」（信濃毎日新聞社主催、諏訪市共催）



夏の諏訪湖に繁茂する浮葉植物ヒシを取り除き、水辺環境を見つめ直す『「アクア・ソーシャル・フェス2014」 魚（うお）多し 諏訪の湖（うみ）を取り戻そう！～ヒシ取りプロジェクト～ヒシを船に乗って回収しよう。』（主催 信濃毎日新聞社、共催 諏訪市、協力 諏訪湖漁協協同組合 長野県連合婦人会、協賛 トヨタ自動車「AQUA SOCIAL FES!!」）が8月23日諏訪湖のヨットハーバー周辺で開かれました。一般応募の方がたくさん集まり、本校からも科学部に所属している2名の女子部員、Sさん、Tさんが参加しました。二人ともアメリカからの留学から帰国したばかりです。アメリカではボランティア活動がごく日常的に行われているようです。

当日は、講演をお聞きしてから、諏訪湖のボートで乗り出して、ヒシをボートに満載して何往復もして回収しました。大変残暑が厳しく日差しを気にしながらの作業で、しかも、ずぶぬれで、ヘドロのにおいも気になりましたが、湖面がみるみる美しさを取り戻していく姿を見ると、やりがいを感じて3往復もしてヒシ除去作業に熱中したとのことでした。

ヒシは、ヘドロに含まれているNやPを吸収するので、水質浄化に役立つ一方、水面に広く繁茂するので、日光を遮って湖水中の水草の光合成を妨げて湖水の酸素不足を招いたり、湖を航行する船舶やボートの航行の妨げになっています。

昨年度の本校SSHコースの諸君も、諏訪湖の菱に着目して「諏訪湖の菱の活用法」というテーマで課題探究を行いました。